

名古屋駅の東西通路計画、幅9メートル 店舗でにぎわい

2022/11/28 19:24 日本経済新聞電子版 263文字

名古屋市は28日、JR名古屋駅で新たに計画している駅東西を結ぶ連絡通路について、幅は約9メートルで店舗などにぎわいが生まれる場所にする方針を明らかにした。現在の中央コンコースの南側に設け、名古屋駅東側のJR広小路口とあおなみ線の改札口を結ぶ。工事費用は250億～350億円になり、市などが負担する。

名古屋市議会の本会議で市議の質問に日下雄介住宅都市局長が答えた。リニア中央新幹線の開通後を目指し、中央コンコースの混雑緩和につなげる。名古屋市は東西を結ぶ新通路の構想を2014年に公表して、障害物の移設や工事の計画を詰めている。



新たな東西通路のイメージ

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。
本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。
本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。
Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

許諾番号30092394 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。